

尊厳死宣言公正証書（サンプル）

第1条 私、〇〇〇〇は、私が将来、病気、事故又は老衰等（以下「傷病等」という。）により、現在の医学では不治の状態に陥り、かつ、死期が迫っている場合に備えて、心身共に健全である現在のうちに、私の家族及び私の医療に携わっている方々に、以下の要望を宣言します。

- (1) 私の傷病等が現在の医学では不治の状態に陥り、既に死期が迫っていると担当医を含む2名以上の医師により診断された場合には、死期を延ばすための延命措置（気管内挿管、人工呼吸器の装着、胃瘻など）は一切行わないでください。
- (2) しかし、私の苦痛を和らげる処置は最大限に実施してください。そのために、麻薬等の副作用により死亡時期が早まったとしてもかまいません。

第2条 この証書の作成に当たっては、あらかじめ私の家族である次の者の了承を得ています。

妻           〇   〇   〇   〇

（昭和      年      月      日生）

長男        〇   〇   〇   〇

（平成      年      月      日生）

長女        〇   〇   〇   〇

（平成      年      月      日生）

私に前条記載の症状が発生したときは、医師も家族も私の意思に従い、私が人間としての尊厳を保った安らかな死を迎えることができるようご配慮ください。

第3条 私のこの宣言による要望を忠実に果たしてくださる方々に深く感謝申し上げます。そして、その方々が私の要望に従ってされた行為の一切の責任は、私自身にあります。

警察・検察の関係者におかれましては、私の家族や医師が私の意思に沿った行動を執ったことにより、これらの者を犯罪捜査や訴追の対象とすることのないよう、特にお願いします。

第4条 この宣言は、私の精神が健全な状態にあるときにしたものであります。したがって、私の精神が健全な状態にあるときに私自身が撤回しない限り、その効力を持続するものであることを明らかにしておきます。

以上